東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ
世界へのプレゼントになろう

Vol.49　第2402回例会　2016.5.19

今年度会長テーマ　ロータリーでハッピーライフ！

■司会：山本例会運営委員長

■点鐘･会長報告　戸澤会長

①『西河会員と森田会員の歓送迎会』を6月23日(木)の夜間例会(八坂神社)の後の食事会時に行います。会場は『東鮨』

②世界初の人工の蜘蛛の糸を作った人の話。関山和秀氏（山形県鶴岡市）33歳。絹は蚕が桑の実を食べて、繭から絹糸を作り出す。蜘蛛は縄張り争いや共食いが激しく、集団で飼えない難しさある。これまで多数試みる。米国のNASAも途中で開発を諦めた。今回の蜘蛛の糸の繊維はバイオと発酵の技術を駆使し、昨年5月量産に成功。『クモノス』と命名。強度は鋼鉄の4倍以上。しかも、軽量。直系1センチのクモノスのロープを造れば離陸するジェット機を停止させることが可能。伸縮はナイロン以上。微生物を介して生産しているため環境に優しい夢のような繊維。合成のクモノス繊維はタンパク質からなり、生分解性を持つ素材と強度と弾力性。夢の新素材になると期待が集まる。昨年9月、スポーツ用品大手のゴールドウインが30億円出資、医療メーカーや自動車部品メーカー等と共同プロジェクトで実用化、商品化が進む。日本人ノーベル賞の候補とされています。

■合唱：
ロータリーソング
「我らの生業」

◆ソングリーダー：
野澤(秀)会員

■お客様紹介：野崎ガバナー補佐

■幹事報告　北久保幹事代行

■ガバナー事務所：
ロータリー平和センター･ホストエリアセミナール、第14回ロータリー平和センター年次セミナーIC主催、第13期ロータリー平和フェローの終了を祝う会開催6月11日(土)国際基督教大学
→野﨑G補佐、町田幹事、会長･幹事、次年度会長へ

■インターアクト委員会：
在京インターアクトリーダーズキャンプ6月3日～4日17:00
国立オリンピック記念青少年総合センター
→中條地区委員へ

■青少年交換委員会：
来日学生。ブラジル女性。Beatrjz BORASO GIAGIO

■クラブ奉仕委員会：ク
ラブ奉仕委員長会議6月14日(火)ホテルグランドパレス
→石山クラブ奉仕委員長へ

■東京東大和RC：第1回多摩分区連絡会
6月14日(火)16:00。会場は『BIG BOX東大和』
→金子次年度会長、北久保次年度幹事。次年度當麻地区資金推進委員長、次年度野崎地区拡大増強委員会委員へ

■御苑RC：
式典案内友好クラブ締結山峡北大菁英ロータリークラブ(台湾)
6月9日新宿ワシントンホテル→会長･幹事へ

■例会場変更：東京板橋RC7月よりホテルメトロポリタンで

■出席報告　野澤厚子会員

在籍会員	29名
出　席	21名
出 席 率	75.00%
前々回修正	80.77%

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30
■例会場／八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／北久保　隆一
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500　FAX 042-395-1166

■ニコニコＢＯＸ　　森田会員

■ご結婚祝月：相羽会員
（当日ご自宅にお花届く）

◆戸澤会長･北久保幹事代行:
本日の卓話者、千葉大学大学院修士課程ヤンジャ様、『モンゴルの国と教育について』の卓話、本日はどうぞよろしくお願い致します。
◆野澤秀夫会員
本日の卓話、千葉大学大学院修士課程ヤンジャ様、よろしくお願い致します。
◆野崎会員
森田さん、ウォンの交換ありがとうございました。楽しんできます。

●合計8000円　　●累計121万7388円

☆多摩信金よりウォンの両替。20万ウォン単位（日本円2万1540円）で。
☆熊本地震で被災された『田中会員･大仁田会員』宛て、支援金ボックス回す。

■委員長報告

■田中国際奉仕委員長からの伝言：
（山本例会運営委員長代読）

来週韓国の国際大会にクラブの代表として参加する人に、『本日、会場の会員から激励の拍手を送って欲しい。』（拍手）

■バナー検討委員会（野村会員）：

金子次年度会長からの指示を受けて検討中。東村山市のシンボル、木だとケヤキ。お花だとつつじ。鳥だとハクセキレイ。これらをちりばめたものと国宝の正福寺などを取り入れた図案を検討中。デザイン･材質決定、見積、発注、納品の順。来年の創立50周年式典のご案内時には間に合うように進めています。来年のアトランタ国際大会にも持参できるように。

■卓話『モンゴルの国と教育について』

■卓話者紹介：
野崎ガバナー補佐

■千葉大学大学院修士課程ヤンジャ様。
■モンゴルで国際基準に合った初めて建設された3年生の新モンゴル高校の7期生。この学校は、モンゴルのモデル校となっており、安倍首相夫人や木原誠二氏も訪問されている。

■卓話者：
『モンゴルの国と教育について』
千葉大学大学院修士課程
ヤンジャ様

■米山奨学とも深い関係があります。1991年、モンゴルウランバートル市生まれ。2010年3月来日。2011年～2015年迄福島大学で経済学を学ぶ。
■昨年から千葉大学大学院修士課程。人文社会科学を学ぶ。
■東アジアの北部に位置。日本から直行便で4時間半。
■夏は湿度が低いので過ごしやすい。
■モンゴルの秋は、紅葉。黄色一色。
■冬。雪は余り降らないが、降ったらすぐに凍ってしまう。最低温度は−50℃。
■4つの地域に分かれる。北に行くほど緑の森林が多い。東側は高原。南側には砂漠。西側は湖と河が多い。
■全人口（2014年以降300万人）の半分は首都ウランバートル市在住。人口の2割は遊牧民。
■遊牧民は、移動しながら、牛、馬、羊、山羊、豚などを飼育。伝統的な移動式住居と呼ばれるゲルを利用。
■首都ウランバートル市。市内を走る車の8割は日本製。
■四季の温度差など厳しい自然環境で培われたため、モンゴル人は忍耐強い。
■遊牧民は、知らないお客さんでも我が家の中に入れて歓迎する習慣を持つ。
■主要産業は、工業と牧畜業。
■輸出物は鉱物の資源、石炭、カシミア、皮製品など。
■輸入物は、石油、自動車など。
■料理は、羊肉と玉ねぎが包んである『ボーズ』が代表的。主食は肉。

■1972年に日本と外交関係樹立。
■蒙古斑を大切にしている。
■親日的（7割の人は日本が好き）。
■モンゴルを訪問する日本人や進出する日本企業は増加中。
■新モンゴル高校で『国造りは人造りから』の教えを受けた。
■最初は知らなかった日本に理解が深まる。日本人も好きに。日本語の楽しさも。日本に強い興味を持つ。
■モンゴル在住時代から『環境問題』を生涯のテーマに定めた。日本は経済発展からの環境問題があったが、それを乗り越えた経験を持つ。勉強して自分の目標を明確にしたい。来日して、環境に対する意識が深くなったことを実感。
■福島大学で経済学を学ぶ。環境経済を学ぶ。
■更に専門的な勉強をするため、大学院に進学した。
■将来は、モンゴルの環境問題解決に尽力したい。これまで助けてくれた日本の人々のことを忘れないで恩返しをしたい。
■最期に、『心豊かなロータリアンたちと出会ったことに一生感謝します。ということを伝えたいです。』

■閉会点鐘：戸澤会長